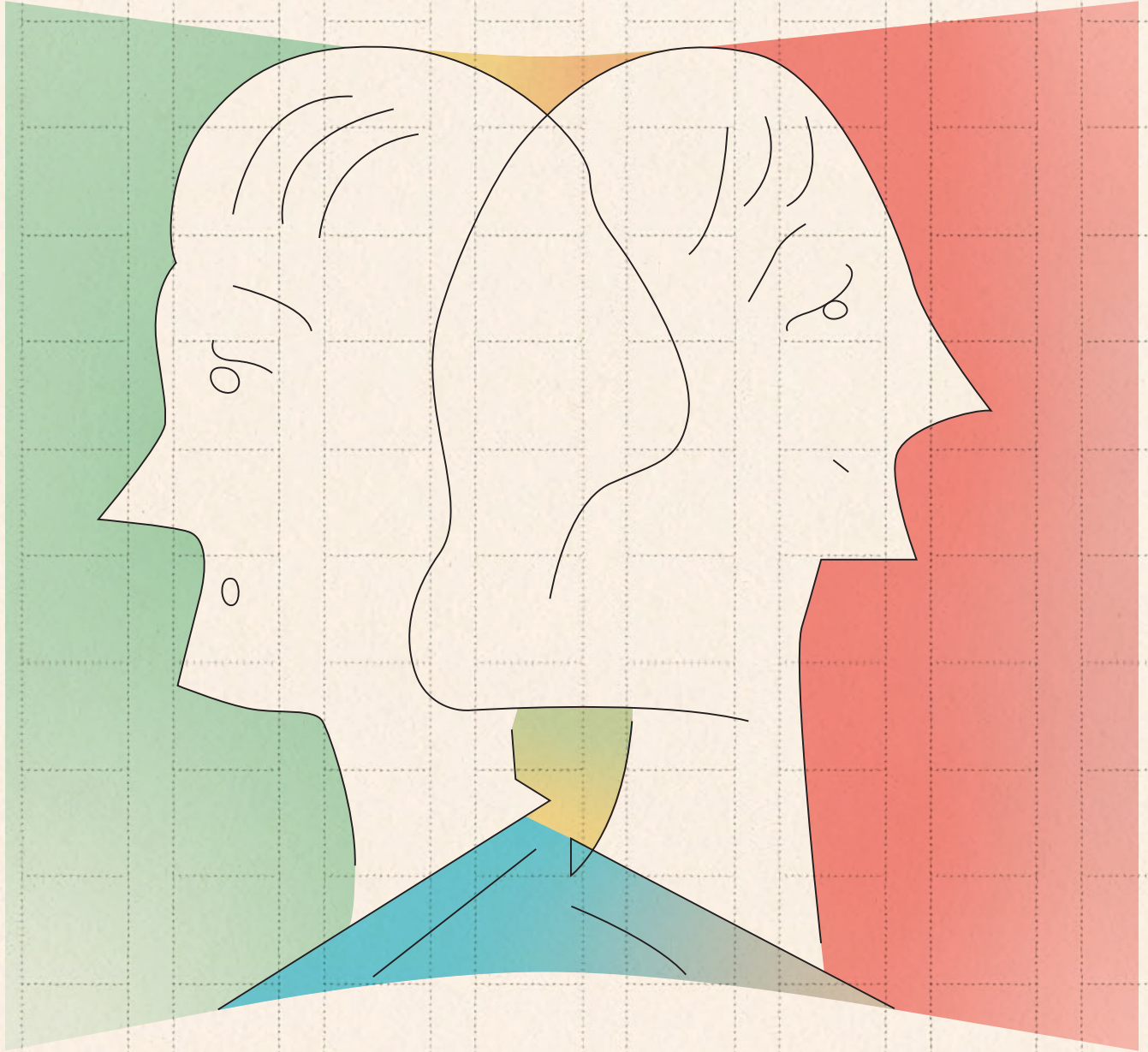


TALK SHOW

直木賞作家が語る、 創作と読書



町立上市図書館 開館70周年記念

直木賞作家
嶋津輝
トークショー&サイン会

2026年 7月25日(土)

14:00 開演 (13:30 開場)

会場：上市町文化研修センター
富山県中新川郡上市町法音寺 15-5

定員：100名 (要事前申込・先着順)

参加料：無料

お申し込み

右の二次元コード、または
図書館窓口にて
直接お申し込みください。

6/1(月)受付開始



サイン会について

- ◎参加券の配布：当日 13:30 より会場にて配布します。
- ◎冊数制限：サインはお一人1冊までといたします。
- ◎書籍販売：会場では中田図書販売(株)による著書本販売を行います。
- ◎本の持参：既にお持ちの書籍をご持参いただいてのサインも可能です。



GUEST PROFILE

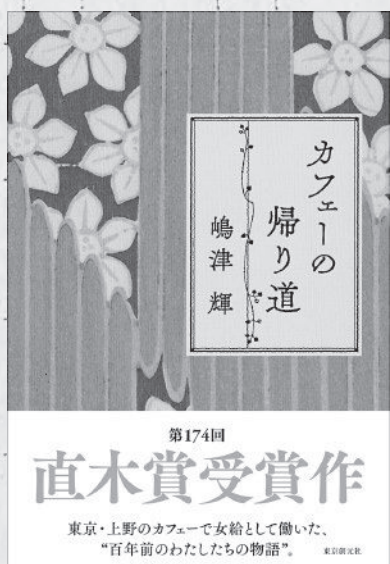
直木賞作家

しまづ てる
嶋津 輝

1969年東京都生まれ。税理士法人、投資会社などを経て、41歳で小説教室に通い、会社勤めの傍ら小説の執筆を開始。2016年、短編小説「姉といもうと」でオール讀物新人賞を受賞、47歳で作家デビューを果たす。19年、同作を含む短編集『スナック墓場』で書籍デビュー（文庫化にあたり、『駐車場のねこ』と改題）。25年刊行の『カフェーの帰り道』で第174回直木賞受賞。他の著作に『櫂がけの二人』がある。『猫はわかっている』『私たちの特別な一日 冠婚葬祭アンソロジー』などのアンソロジーにも作品が収録されている。



© 露木聡子



第174回直木賞受賞作品 「カフェーの帰り道」

大正から戦後の激動期、上野の「カフェー西行」で働く女給たちの人生を描いた連作短編集。葛藤を抱えつつ日常を前向きに紡ぐ彼女たちの息遣いは、今こそ多くの人に触れてほしい、「百年前のわたしたちの物語」です。